

にしじま通信



編集者 西島 由紀恵

みなさん、お元気ですか？ すごしやすい季節になりましたね。

いよいよ今週末は、「感謝祭」がありますよー！

チラシを同封しましたので、ぜひ遊びにいらしてくださいね。

今年、リフォームハンズにしじま（西島木材のリフォーム部）を立ち上げて、ちょうど15年になります。それで、なにか記念になることをやりたいなあと思い、“チェーンソーアートの世界チャンピオン 城所ケイジ氏”に来ていただくことにしました。二日間かけて、福井の杉で福井県ゆかりのものを作る予定です。

丸太が削られながら、作品になっていく様は、まるで木に魂が宿っていくようです。見てもらいたいなあ。^^



近くのソバ畑。もうじき、新そばの時期ですね

ところで、去年の感謝祭のとき、『チラシと全然違うがあ』と文句を言ってこられたご婦人がいました。

「どこが違ってましたか？」と聞いたら、社長の顔写真が全然違うと……。(笑)

すみません、うちの社長はあまり写真を撮られるのが好きじゃないので、若い頃のを使いまわしているんです。^^;

しかも、今年もその写真(若い頃の)使ってます。また、怒られるかなあ。

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33

西島木材株式会社

リフォームハンズにしじま

西島和之一級建築士事務所

フリーダイヤル 0120-430-156

西島木材

検索

～社長の一言～

15・16日は感謝祭を行います。二日間とも「木になる話」というセミナーをしますのでお立寄りください。三年間やってきた“木のソムリエツアー”や“木の住まい教室”を凝縮した内容となっています。

申し込みの必要はありません。当日、事務所に来ていただくだけで大丈夫です。



屋久島ひとり旅

西島がずっとずーっと行きたかったところ……それは屋久島です。念願かなって、やっと屋久島の地に足を踏み入れることができました。ところが、台風がすぐそこまで接近していたので、滞在時間わずか4時間しかいれませんでした。(グスン) それでも嬉しかったあ♪

小松空港から羽田経由で、鹿児島空港へ。そこからバスで1時間かけて、フェリー乗り場へ。高速フェリーで1時間半かけて種子島へ。そこからまた1時間かけて屋久島へ。

今回行けませんでした、「縄文杉」には、登山口から片道5時間歩きます。往復10時間。いつか、きつときつと「縄文杉」に会いに行きたいと思います！



江戸時代、農作物が採れない屋久島は非常に貧しく、年貢が納められなかったそうです。そこで、屋久杉を「平木」^{ひらき}に加工して、それを年貢の代わりにするよう、島津藩に献策。「平木」とは、現在の「裏板」^{うらいた}のようなものです。屋根の下地材ですね。

あ、現在は国有林でもあり世界遺産になったので、屋久杉は伐採できませんよ。お土産の屋久杉の小物は、江戸時代に伐採したものから作られています。だから高いんですね。



この樹は「紀元杉」です

ズイキ



すこ



お客様からズイキをいただきました。皮をむいて、ふと手を見たら「ぎゃあ〜」真っ黒だ！ズイキってこんなにアクが強かったっけ。福井県の法事のときの郷土料理「すこ」を作りました。これ、大好きなんです♪この場を借りて、お礼申し上げます。〇様、ありがとうございました。^^

～木の香ただようルーム～

福井県木材組合連合会「木材会館」に、県産材のショールームができました。名付けて、“木の香ただようルーム”です。杉(無垢材)がいいのは知ってても、どんなイメージになるのかわからないですよ。そんなとき、参考になりますよ。



※木材会館は産業会館の8号線を挟んで向かいになります。

